

昭和39年度
<英米文学科>
卒業論文

エマソンの隨筆研究
英語入浴語の日本語について
エミリ・プロンテの「嵐・丘」研究
「ダーヴィル家の子」について
「腹はエレクタス相思し」
「魔術」の分析
ハーディによる「ダーヴィル家の子」の研究
「心は孤独の獣人」におけるテーマについて
「人間を女にする」
ジェームズ・ホールド・ウィルの「山に登る」について
アーリアード・ラソランの戯曲「君が人生についての小論」
「虹」より「恋する女たち」へ
ヘミングウェイに於ける生と死の意識の研究
ボーに於ける姫姫の研究
ボーの短篇におけるアレババレンスの衝動
「恋愛位法」に於ける作者の自己投影
天路歷程の研究
パール・バッックの世界
「ガラスの動物園」と「欲望」という名の電車の研究
G・グリーンの作品に於ける責任と人間性
モーモの女性観
ワーズワース研究
小説ミス・ローリー・ハーツにおける憎悪と絶望
D・H・ロレンス「チャタレイ夫人の恋」に関する私論
「怒りのぶどう」についての研究
「私のアンドニーフ・コンバーフィードの研究
一愛への出発」「アーヴィング・ミラー」「人間と社会」
D・H・ロレンスの思想の應用と「チャタレイ夫人の恋」の研究
グリーンの心
「事件の核心」におけるグリーンの生き方
「心は孤独な獣人」における人間の孤
独と愛
サムソンの性格とその効果「闘士サムソン」
キヤサリーン、マンスフィールド
ウイリアム、ワーウィーの論
「怒りの葡萄」の中の「一つの大好きな魂」
スタイルベックの研究
セオドア・ライザーの「シスター・キャリー」
「テネシー・アイリームズ」に於ける人間の内部状況
作品中の人間像とその悲劇の追求
マーク・クナーの「人間主義と信仰」
真実在生存を求めて
オスカー・ワイルドと彼の倫理
短篇作家シヤー・ウツデ・アンダースン
ロレンスの恋について
フィジッシュユラード研究
ドス・パリスの研究
コールエドワード研究
キヨーヤンの作品における人間像

原瀬中田水網官吉植吉田柳村時松恭一郎東郷晴夫

泰子千子平洋子峰静夫つる村松恭一郎晴夫

寺坂しげ子朝子寺田利子鈴木美美子瑞穂

清水綾子和子重村屋佐藤柳沙子

木茂茂知子進隆人夫彦昭洋

佐々木島城秋原小畠野延三島洋子

昭子千子平洋子香川久保良貴

石橋田原忠義大林井山小石川ゆか

夫婦吉井松江

スミス・ジョン

メアリ・スミス

マーティン・スミス

マーティン・スミス